

日時：令和6年10月29日（火） 19時～ 場所：やっちくふれあいセンター

第1回 志布志市松山地域の学校の在り方検討委員会

会 次 第

- 1 開会
- 2 辞令交付
- 3 教育長挨拶
- 4 出席者紹介
- 5 委員長及び副委員長の選任
- 6 これまでの経緯及び本検討委員会の趣旨について
- 7 議事
 - (1) 検討委員会としての基本的な考え方及び今後の進め方等について
 - (2) 保護者アンケートの実施について
- 8 その他
- 9 閉会

※ 公開用資料は、一部修正してあります。

志布志市松山地域の学校の在り方検討委員会 委員

	委員区分	備考
1	1号委員	鹿児島大学 教授
2	2号委員	城南保育園 園長
3		みどり保育園 園長
4		さゆり保育園 園長
5	3号委員	松山小学校 校長
6		泰野小学校 校長
7		尾野見小学校 校長
8	4号委員	松山中学校 校長
9	5号委員	城南保育園 保護者代表
10		〃
11		みどり保育園 保護者代表
12		〃
13		さゆり保育園 保護者代表
14		〃
15	6号委員	松山小学校 保護者代表
16		〃
17		泰野小学校 保護者代表
18		〃
19		尾野見小学校 保護者代表
20		〃
21	7号委員	松山中学校 保護者代表
22		〃
23	8号委員	新橋地区コミュニティ協議会
24		泰野校区コミュニティ協議会
25		尾野見コミュニティ協議会
26	9号委員	松山小学校学校運営協議会
27		泰野小学校学校運営協議会
28		尾野見小学校学校運営協議会
29		松山中学校学校運営協議会

事務局

教育総務課	福田 裕 生	教育長
	児 玉 雅 史	課長
	橋 本 淳 二	総務施設グループリーダー
	児 玉 憲 一	総務施設グループサブリーダー
	竹 井 尚 紀	総務施設グループ主任主査

志布志市松山地域の学校の在り方検討委員会設置規程

(設置)

第1条 少子化に伴う今後の児童生徒数の推移を考慮し、将来の担い手となる子供たちにとって、より良い学びの場となるよう、松山地域の学校の適正な規模、適正な配置等の在り方について検討するため、志布志市松山地域の学校の在り方検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事務を行う。

- (1) 松山地域の学校の適正な規模、適正な配置等の在り方について検討すること。
- (2) その他松山地域の学校の在り方に関する課題の解決に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員29人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから志布志市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 松山地域の認定こども園の園長
- (3) 松山地域の小学校長
- (4) 松山中学校長
- (5) 松山地域の認定こども園の児童の保護者
- (6) 松山地域の小学校の児童の保護者
- (7) 松山中学校の生徒の保護者
- (8) 松山地域のコミュニティ協議会の代表者
- (9) 松山地域の小中学校の学校運営協議会の委員

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集する。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。
- 3 委員長は、会議の議長となり、議事を整理する。
- 4 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に会議への出席を求め、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会教育総務課において処理する。

(その他)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

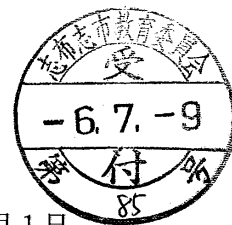
附 則

(施行期日)

1 この告示は、令和6年9月27日から施行する。

(この告示の失効)

2 この告示は、令和8年3月31日限り、その効力を失う。



要 望 書

令和6年7月1日

志布志市長 下平 晴行 様

志布志市教育委員会 教育長 福田 裕生 様

新橋地区コミュニティ協議会
会 長 川 上 渉
泰野校区コミュニティ協議会
会 長 村 中 洋 人
尾野見コミュニティ協議会
会 長 大 野 洋 一

松山地区教育環境の在り方等検討について

初夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、日本は少子化による人口減少の局面に入るとともに、高齢化が急速な勢いで進んでおります。志布志市においても、若者を中心に人口が大幅に減少する深刻な事態を迎えており、このまま推移すると、少なからず地域が将来消滅しかねないとの指摘もなされている所です。

こうした中、令和5年3月志布志市議会定例会において、将来を見据えた学校の在り方等について、議論を始めると発表がなされました。その事を受けて、先に示された児童・生徒数の推移を見て、松山地区では、いち早く「松山地区教育環境等の在り方検討」について、議論を始めた所でした。

下記概要のとおり、現在まで3回、各関係者が集まり議論してまいりました。その中では、将来的には深刻な状態にある事が共通理解された所です、しかし、松山地区の現状を鑑みながら教育環境の在り方等について、今後どのように議論を進めていくべきなのか、大変苦慮している所でもあります。

将来に渡り地域社会が持続可能なものとなる上でも、諸課題の解決を図る事は急務であると言えます。

つきましては、志布志市・志布志市教育委員会より、子どもたちのより良い教育環境の在り方について、更に議論を深めるために、ご協力頂きたいようお願い申し上げます。

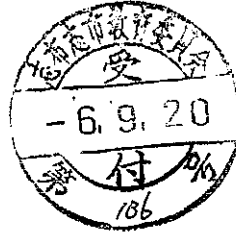
概 要

会 議 令和4年8月・令和4年12月・令和5年5月 (3回開催)

参加者 各地区コミュニティ協議会役員 (3役等)
各学校 PTA 役員等 (4校)
各地区保育園父母の会・園長
市議会議員

意見

- (1) 3回の協議を経て、現役世代(PTA等)は、アンケートの結果通り、子どもたちの、より良い教育環境については、高い興味を持っており、早い段階での方向性について、模索する事を望む声が多かった。
- (2) 地域コミュニティ間では、若干地域間の温度差があるようだ。学校がなくなるのは寂しいが、仕方ないと感じている。
- (3) 地域住民に周知や説明等が、まだまだ進んでいないのではないかとの声がある。
- (4) 志布志市が方向性を出していないのに、時期尚早ではないのかとの声がある。
- (5) 地域が不安に思っているのは、学校がなくなり地域が益々疲弊するのではないかと考えている、学校跡地の利活用等についても、情報提供が欲しい。
- (6) デリケート課題であり、何処が主体的に呼びかけ、音頭を取ればよいのか分からない。



令和6年9月20日

志布志市長 下平晴行様
志布志市教育委員会 教育長 福田裕生様

松山地区小学校 PTA 連絡会

松山地区の教育環境の在り方検討に係る検討内容について

標記の件につきまして、松山小学校、泰野小学校、尾野見小学校において現在の教育環境も含め、将来における教育環境の意向調査を行いました。意向調査の結果、松山地区の教育環境の在り方については、次の点を含めて検討いただきますようお願いいたします。

1 教育について

- (1) 習熟度別による細やかな学習指導、それに伴う保護者との連携体制
- (2) グローバル化に向けた英語力の強化もお願いしたい。
- (3) タブレットやPCを活用し IT スキルの向上にも努めてほしい。
- (4) 学力に加えて社会のマナーにおいても学校生活の中で身に付けてほしい。

2 学校環境について

- (1) 義務教育学校(小中一貫校を含む)としての環境整備、スクールバスによる通学の安全確保等
- (2) 洋式トイレ化
- (3) 熱中症対策(体育館の空調整備、給水機の設置。)
- (4) 図書の本の電子化
- (5) 夏休みの宿題のタブレット化(近隣の学校では取り入れていて、毎日送信するので先生に届き、進捗も確認できるそうです)
- (6) スクールカウンセラー常駐
- (7) 障がい者に優しい環境
- (10) PTA 活動の負担軽減
- (11) 広くて安全な駐車場
- (12) 地域の特色を生かした学校景観づくり

方針等の決定に当たっては、当事者である保護者の(未就学児を含む。)の意見を大切にさせていただきますようお願いいたします。

○今後の児童生徒数の推移について

抜粋

志布志市教育委員会

1 令和6年4月8日現在の児童生徒数

松山小	1年	10	1	安楽小	1年	50	2	通山小	1年	24	1	伊崎田小	1年	8	1
	2年	9	1		2年	34	1		2年	16	1		2年	10	1
	3年	14	1		3年	44	2		3年	30	1		3年	11	1
	4年	8	1		4年	39	1		4年	11	1		4年	11	1
	5年	11	1		5年	40	2		5年	25	1		5年	13	1
	6年	12	1		6年	45	1		6年	20	1		6年	12	1
	合計	64	6		合計	252	9		合計	126	6		合計	65	6
泰野小	1年	6	1	潤ヶ野小	1年	5	1	原田小	1年	8	1	小学校計	1年	258	
	2年	10	1		2年	6	1		2年	6	1		2年	232	
	3年	3	1		3年	2	1		3年	6	1		3年	271	
	4年	12	1		4年	4	1		4年	6	1		4年	258	
	5年	7	1		5年	6	1		5年	11	1		5年	285	
	6年	8	1		6年	6	1		6年	8	1		6年	309	
	合計	46	4		合計	29	4		合計	45	5		合計	1,613	92
尾野見小	1年	10	1	森山小	1年	4	1	蓬原小	1年	6	1	松山中	1年	39	1
	2年	5	1		2年	2	1		2年	17	1		2年	32	1
	3年	15	1		3年	3	1		3年	9	1		3年	35	1
	4年	12	1		4年	2	1		4年	7	1		合計	106	3
	5年	13	1		5年	2	1		5年	23	1		1年	133	4
	6年	10	1		6年	2	1		6年	14	1		2年	144	4
	合計	65	6		合計	15	3		合計	76	5		合計	404	11
志布志小	1年	39	1	田之浦小	1年	2	1	野神小	1年	22	1	有明中	1年	39	1
	2年	32	1		2年	6	1		2年	7	1		2年	37	1
	3年	50	2		3年	3	1		3年	21	1		3年	52	2
	4年	47	2		4年	6	1		4年	12	1		合計	128	4
	5年	44	2		5年	2	1		5年	23	1		1年	37	1
	6年	54	2		6年	5	1		6年	24	1		2年	55	2
	合計	266	10		合計	24	3		合計	109	6		合計	134	4
香月小	1年	36	1	有明小	1年	21	1	山重小	1年	7	1	宇都中	1年	17	1
	2年	35	1		2年	29	1		2年	8	1		2年	11	1
	3年	36	1		3年	19	1		3年	5	1		3年	15	1
	4年	46	2		4年	26	1		4年	9	1		合計	43	3
	5年	31	1		5年	27	1		5年	7	1		1年	265	8
	6年	47	2		6年	28	1		6年	14	1		2年	279	9
	合計	231	8		合計	150	6		合計	50	5		合計	271	8
※1 特別支援学級の児童・生徒数を含む。															
※2 学級数から特別支援学級数を除く。															
中学校計															
1年 265 8															
2年 279 9															
3年 271 8															
合計 815 25															

2 基準年度【令和4年度】からの新入学児童数の推計（住民基本台帳 令和6年4月10日現在）

就学年度	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和12年度児童数
誕生年	H27.4.2~H28.4.1生	H29.4.2~H30.4.1生	H30.4.2~H31.4.1生	H31.4.2~R2.4.1生	R2.4.2~R3.4.1生	R3.4.2~R4.4.1生	R4.4.2~R5.4.1生	R5.4.2~R6.4.1生	
松山小	14	8	5	8	4	7	4	8	36
泰野小	4	7	2	3	2	4	3	6	20
尾野見小	15	10	8	9	8	5	3	4	37
松山計	33	25	15	20	14	16	10	18	93
志布志小	50	52	42	37	33	37	41	26	216
香月小	37	44	36	45	27	32	37	35	212
安楽小	46	42	30	24	24	33	17	32	160
潤ヶ野小	5	0	2	3	3	4	3	2	17
森山小	2	1	0	0	1	1	0	0	2
田之浦小	3	1	1	1	2	1	0	0	5
志布志計	143	140	111	110	90	108	98	95	612
有明小	21	21	21	16	13	13	14	9	86
通山小	30	24	25	24	18	18	9	22	116
原田小	6	10	4	11	7	5	5	6	38
蓬原小	10	6	11	10	5	4	4	3	37
野神小	20	16	11	12	6	8	5	6	48
山重小	6	8	5	4	2	4	2	0	17
伊崎田小	12	8	7	8	4	2	7	5	33
有明計	105	93	84	85	55	54	46	51	375
志布志市計	281	258	210	215	159	178	154	164	1,080

3 地区別児童生徒数の推移 (令和6年4月1日現在からの推計)

中学校全体

	令和4年度と12年度の比較												生徒数	割合
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度						
1年	268	265	309	285	258	271	232	258	△ 10	-3.7%				
2年	284	279	265	309	285	258	271	232	△ 52	-18.3%				
3年	280	271	279	265	309	285	258	271	△ 9	-3.2%				
合計	832	815	853	859	852	814	761	761	△ 71	-8.5%				

小学校全体

	令和4年度と12年度の比較												児童数	割合
	令和4年度 H27年度生	令和6年度 H29年度生	令和7年度 H30年度生	令和8年度 R1年度生	令和9年度 R2年度生	令和10年度 R3年度生	令和11年度 R4年度生	令和12年度 R5年度生						
1年	281	258	210	215	159	178	154	164	△ 117	-41.6%				
2年	273	232	258	210	215	159	178	154	△ 119	-43.6%				
3年	297	271	232	258	210	215	159	178	△ 119	-40.1%				
4年	310	258	271	232	258	210	215	159	△ 151	-48.7%				
5年	280	285	258	271	232	258	210	215	△ 65	-23.2%				
6年	301	309	285	258	271	232	258	210	△ 91	-30.2%				
合計	1,742	1,613	1,514	1,444	1,345	1,252	1,174	1,080	△ 662	-38.0%				

松山地区小学校全体

	令和4年度と12年度の比較												児童数	割合
	令和4年度 H27年度生	令和6年度 H29年度生	令和7年度 H30年度生	令和8年度 R1年度生	令和9年度 R2年度生	令和10年度 R3年度生	令和11年度 R4年度生	令和12年度 R5年度生						
1年	33	26	15	20	14	16	10	18	△ 15	-45.5%				
2年	33	24	26	15	20	14	16	10	△ 23	-69.7%				
3年	31	32	24	26	15	20	14	16	△ 15	-48.4%				
4年	31	32	32	24	26	15	20	14	△ 17	-54.8%				
5年	36	31	32	32	24	26	15	20	△ 16	-44.4%				
6年	34	30	31	32	32	24	26	15	△ 19	-55.9%				
合計	198	175	160	149	131	115	101	93	△ 105	-53.0%				

志布志地区小学校全体

	令和4年度と12年度の比較												児童数	割合
	令和4年度 H27年度生	令和6年度 H29年度生	令和7年度 H30年度生	令和8年度 R1年度生	令和9年度 R2年度生	令和10年度 R3年度生	令和11年度 R4年度生	令和12年度 R5年度生						
1年	143	136	111	110	90	108	98	95	△ 48	-33.6%				
2年	154	115	136	111	110	90	108	98	△ 56	-36.4%				
3年	131	138	115	136	111	110	90	108	△ 23	-17.6%				
4年	157	144	138	115	136	111	110	90	△ 67	-42.7%				
5年	143	125	144	138	115	136	111	110	△ 33	-23.1%				
6年	153	159	125	144	138	115	136	111	△ 42	-27.5%				
合計	881	817	769	754	700	670	653	612	△ 269	-30.5%				

有明地区小学校全体

	令和4年度と12年度の比較												児童数	割合
	令和4年度 H27年度生	令和6年度 H29年度生	令和7年度 H30年度生	令和8年度 R1年度生	令和9年度 R2年度生	令和10年度 R3年度生	令和11年度 R4年度生	令和12年度 R5年度生						
1年	105	96	84	85	55	54	46	51	△ 54	-51.4%				
2年	86	93	96	84	85	55	54	46	△ 40	-46.5%				
3年	135	101	93	96	84	85	55	54	△ 81	-60.0%				
4年	122	82	101	93	96	84	85	55	△ 67	-54.9%				
5年	101	129	82	101	93	96	84	85	△ 16	-15.8%				
6年	114	120	129	82	101	93	96	84	△ 30	-26.3%				
合計	663	621	585	541	514	467	420	375	△ 288	-43.4%				

□ は、令和18年度の
中学校の生徒数

4 中学校区別児童生徒数の推移 (令和6年4月1日現在からの推計) 【松山中校区】

松山中												令和4年度と12年度の比較	
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	生徒数	割合			
1年	34	39	30	31	32	32	24	26	△ 8	-23.5%			
2年	30	32	39	30	31	32	32	24	△ 6	-20.0%			
3年	35	35	32	39	30	31	32	32	△ 3	-8.6%			
合計	99	106	101	100	93	95	88	82	△ 17	-17.2%			

松山小

	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和4年度と12年度の比較	
	H27年度生	H29年度生	H30年度生	R1年度生	R2年度生	R3年度生	R4年度生	R5年度生	児童数	割合
1年	14	10	5	8	4	7	4	8	△ 6	-42.9%
2年	9	9	10	5	8	4	7	4	△ 5	-55.6%
3年	12	14	9	10	5	8	4	7	△ 5	-41.7%
4年	12	8	14	9	10	5	8	4	△ 8	-66.7%
5年	14	11	8	14	9	10	5	8	△ 6	-42.9%
6年	16	12	11	8	14	9	10	5	△ 11	-68.8%
合計	77	64	57	54	50	43	38	36	△ 41	-53.2%

泰野小

	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和4年度と12年度の比較	
	H27年度生	H29年度生	H30年度生	R1年度生	R2年度生	R3年度生	R4年度生	R5年度生	児童数	割合
1年	4	6	2	3	2	4	3	6	2	50.0%
2年	12	10	6	2	3	2	4	3	△ 9	-75.0%
3年	7	3	10	6	2	3	2	4	△ 3	-42.9%
4年	10	12	3	10	6	2	3	2	△ 8	-80.0%
5年	6	7	12	3	10	6	2	3	△ 3	-50.0%
6年	10	8	7	12	3	10	6	2	△ 8	-80.0%
合計	49	46	40	36	26	27	20	20	△ 29	-59.2%

尾野見小

	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和4年度と12年度の比較	
	H27年度生	H29年度生	H30年度生	R1年度生	R2年度生	R3年度生	R4年度生	R5年度生	児童数	割合
1年	15	10	8	9	8	5	3	4	△ 11	-73.3%
2年	12	5	10	8	9	8	5	3	△ 9	-75.0%
3年	12	15	5	10	8	9	8	5	△ 7	-58.3%
4年	9	12	15	5	10	8	9	8	△ 1	-11.1%
5年	16	13	12	15	5	10	8	9	△ 7	-43.8%
6年	8	10	13	12	15	5	10	8	0	0.0%
合計	72	65	63	59	55	45	43	37	△ 35	-48.6%

松山中校区小学校全体

	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和4年度と12年度の比較	
	H27年度生	H29年度生	H30年度生	R1年度生	R2年度生	R3年度生	R4年度生	R5年度生	児童数	割合
1年	33	26	15	20	14	16	10	18	△ 15	-45.5%
2年	33	24	26	15	20	14	16	10	△ 23	-69.7%
3年	31	32	24	26	15	20	14	16	△ 15	-48.4%
4年	31	32	32	24	26	15	20	14	△ 17	-54.8%
5年	36	31	32	32	24	26	15	20	△ 16	-44.4%
6年	34	30	31	32	32	24	26	15	△ 19	-55.9%
合計	198	175	160	149	131	115	101	93	△ 105	-53.0%

「小学校の在り方に関するアンケート調査」からの抜粋

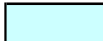
【問3】 今後、学校の在り方について検討が必要だと思いますか。 令和5年1月実施

	回答数	割合
すぐに必要	161	22.9%
将来的には必要	414	58.8%
必要はない	36	5.1%
分からない	93	13.2%
計	704	100.0%

学校の在り方についての検討が、「すぐに必要」、「将来的には必要」との回答が合わせて81.7%あり、保護者が、教育環境について検討が必要と感じていることがうかがえる。

小学校区別内訳

松山小学校	すぐに必要	10	35.7%	有明小学校	すぐに必要	12	13.8%
	将来的には必要	16	57.1%		将来的には必要	59	67.8%
	必要はない	0	0.0%		必要はない	5	5.7%
	分からない	2	7.1%		分からない	11	12.6%
泰野小学校	すぐに必要	14	48.3%	通山小学校	すぐに必要	14	20.3%
	将来的には必要	11	37.9%		将来的には必要	43	62.3%
	必要はない	0	0.0%		必要はない	2	2.9%
	分からない	4	13.8%		分からない	10	14.5%
尾野見小学校	すぐに必要	12	26.7%	原田小学校	すぐに必要	3	21.4%
	将来的には必要	28	62.2%		将来的には必要	10	71.4%
	必要はない	2	4.4%		必要はない	0	0.0%
	分からない	3	6.7%		分からない	1	7.1%
志布志小学校	すぐに必要	19	18.3%	蓬原小学校	すぐに必要	3	16.7%
	将来的には必要	64	61.5%		将来的には必要	15	83.3%
	必要はない	5	4.8%		必要はない	0	0.0%
	分からない	16	15.4%		分からない	0	0.0%
香月小学校	すぐに必要	18	17.1%	野神小学校	すぐに必要	3	7.5%
	将来的には必要	52	49.5%		将来的には必要	28	70.0%
	必要はない	12	11.4%		必要はない	1	2.5%
	分からない	23	21.9%		分からない	8	20.0%
安楽小学校	すぐに必要	21	26.6%	山重小学校	すぐに必要	5	20.0%
	将来的には必要	47	59.5%		将来的には必要	16	64.0%
	必要はない	4	5.1%		必要はない	2	8.0%
	分からない	7	8.9%		分からない	2	8.0%
潤ヶ野小学校	すぐに必要	7	43.8%	伊崎田小学校	すぐに必要	9	36.0%
	将来的には必要	5	31.3%		将来的には必要	11	44.0%
	必要はない	2	12.5%		必要はない	1	4.0%
	分からない	2	12.5%		分からない	4	16.0%
森山小学校	すぐに必要	4	40.0%	計	すぐに必要	161	22.9%
	将来的には必要	6	60.0%		将来的には必要	414	58.8%
	必要はない	0	0.0%		必要はない	36	5.1%
	分からない	0	0.0%		分からない	93	13.2%
田之浦小学校	すぐに必要	7	70.0%				
	将来的には必要	3	30.0%				
	必要はない	0	0.0%				
	分からない	0	0.0%				

 は、各小学校で最多の意向

【問5】 1クラス当たりの児童数は、何人ぐらいが良いと思いますか。

	すぐに必要	将来的には必要	必要はない	分からない	計	割合
10人未満	13	14	1	4	32	4.5%
10人以上20人未満	79	204	18	51	352	50.0%
20人以上30人未満	66	193	17	37	313	44.5%
30人以上	3	3	0	1	7	1.0%
計	161	414	36	93	704	100.0%

全体では、1クラス当たり「10人以上20人未満」が良いと考える回答が多いが、志布志小、香月小、有明小では「20人以上30人未満」が最多となっている。

小学校区別内訳

学校名	人数	すぐに必要	将来的には必要	必要はない	分からない	学校名	人数	すぐに必要	将来的には必要	必要はない	分からない
松山小学校	10人未満	0	1	0	0	有明小学校	10人未満	2	0	0	0
	10人以上20人未満	5	8	0	2		10人以上20人未満	3	15	2	7
	20人以上30人未満	5	7	0	0		20人以上30人未満	7	44	3	4
	30人以上	0	0	0	0		30人以上	0	0	0	0
泰野小学校	10人未満	1	2	0	1	通山小学校	10人未満	1	1	0	0
	10人以上20人未満	6	7	0	3		10人以上20人未満	9	19	1	5
	20人以上30人未満	6	2	0	0		20人以上30人未満	4	23	1	4
	30人以上	1	0	0	0		30人以上	0	0	0	1
尾野見小学校	10人未満	0	1	0	0	原田小学校	10人未満	0	2	0	0
	10人以上20人未満	9	17	2	3		10人以上20人未満	0	6	0	1
	20人以上30人未満	3	10	0	0		20人以上30人未満	3	2	0	0
	30人以上	0	0	0	0		30人以上	0	0	0	0
志布志小学校	10人未満	1	1	0	2	蓬原小学校	10人未満	0	0	0	0
	10人以上20人未満	8	35	1	5		10人以上20人未満	2	12	0	0
	20人以上30人未満	10	28	4	9		20人以上30人未満	0	2	0	0
	30人以上	0	0	0	0		30人以上	1	1	0	0
香月小学校	10人未満	1	3	0	1	野神小学校	10人未満	0	0	0	0
	10人以上20人未満	7	14	7	11		10人以上20人未満	1	19	0	5
	20人以上30人未満	10	35	5	11		20人以上30人未満	2	9	1	3
	30人以上	0	0	0	0		30人以上	0	0	0	0
安楽小学校	10人未満	2	0	0	0	山重小学校	10人未満	1	1	1	0
	10人以上20人未満	12	21	2	4		10人以上20人未満	3	13	1	1
	20人以上30人未満	7	24	2	3		20人以上30人未満	1	2	0	1
	30人以上	0	2	0	0		30人以上	0	0	0	0
潤ヶ野小学校	10人未満	1	0	0	0	伊崎田小学校	10人未満	0	0	0	0
	10人以上20人未満	3	5	1	2		10人以上20人未満	4	8	1	2
	20人以上30人未満	3	0	1	0		20人以上30人未満	4	3	0	2
	30人以上	0	0	0	0		30人以上	1	0	0	0
森山小学校	10人未満	2	1	0	0	計	10人未満	13	14	1	4
	10人以上20人未満	2	4	0	0		10人以上20人未満	79	204	18	51
	20人以上30人未満	0	1	0	0		20人以上30人未満	66	193	17	37
	30人以上	0	0	0	0		30人以上	3	3	0	1
田之浦小学校	10人未満	1	1	0	0	<div style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; background-color: #e0f7fa; border: 1px solid black;"></div> は、各小学校で最多の意向					
	10人以上20人未満	5	1	0	0						
	20人以上30人未満	1	1	0	0						
	30人以上	0	0	0	0						

【問6】 動画や今後の児童数の推移をご覧になって感じたこと、今後、学校の在り方を考えていく上で必要なことやご意見等があればお書きください。

	感想・意見数 ①	割合	回答数 ②	回答数からの割合 ①/②
すぐに必要	68	44.4%	161	42.2%
将来的には必要	62	40.5%	414	15.0%
必要はない	8	5.2%	36	22.2%
分からない	15	9.8%	93	16.1%
計	153	100.0%	704	21.7%

「すぐに必要」、「将来的には必要」と回答した保護者からの意見等が全体の85%となっている。
全回答704件のうち21.7%の保護者から意見等があったが、「すぐに必要」と回答した保護者の42.2%が意見等を記入しており、危機感がうかがえる。

松山小学校

番号	検討の可否	内容
1	すぐに必要	統合を早急に考え、準備、実行するべきだ
2	すぐに必要	松山小、泰野小、尾野見小それぞれで今後を考えるのではなく、松山地区全体で統合に向けた話し合いが必要だと思います。統合するかしないではなく、いつ統合をするか具体的な話し合いが、子どもたちにとって一番大切だと感じました。
3	すぐに必要	これからホントに子供の数が減っていくのだと感じた。今検討を始めないと手遅れになってしまうのではないかと思う。
4	すぐに必要	今後の動きを考慮した早めの対策が必要だと思う。その為にも実行委員会等の設置を各小学校行い、それぞれの考え方をまとめ今後の動きを決めていってもらいたい。
5	すぐに必要	極小規模化の現実が近づいていることを改めて実感した。多様性の許容を求める世の中にあって、好ましい状況とは思えない。そもそも児童数を増やす、人口を増やすという国の施策が追いついていない以上、いち保護者でしかない「末端」で関わる私たちができることは、目先の対応の議論、いわゆる統合を基本とした議論を重ねて、出た結論を教育行政に届けるだけだと思っている。
6	すぐに必要	3つの小学校を1つにする。 小中一貫校にする
7	将来的に必要	複式学級は、学力の面で避けたい。
8	将来的に必要	中学もある泰野に小学校を統一もありだと思いますが、そうすると、うちからは岩川中学校も近くなるため、岩川を希望する気持ちもあります。校区も大事ですが、今現状どこも子供も少ないので、なおさら校区外は反対な意見だと思いますが、一意見として見ていただけるとありがたいです。
9	将来的に必要	人数が少ないことで、交友関係が狭くなる感じはするが、逆に他の学年との交流が自分達が子供の頃に比べたら広いように感じる。それは相互間にメリットはあるので良いことではある。また、今のご時世で言えば、コロナ感染の拡大も人数に比例して感染率は上がると思うので、その点も今後の動き次第では考慮する点の一つだと思う。 最近ではあまり聞かなくなってきたが、いじめ問題も人数が多ければ起こりうる問題の一つではないか。人数が多いと先生が目が届かないが故に起きてしまったり、人数が少ないからこそ協調性が生まれいじめというよりは仲間意識に繋がり、いじめの減少には繋がると思う。 現状としては、10~20名のクラスが多いが、これを下回るとまたデメリットも出てくるかと。 今後複式学級とかも検討されるのかと思うが、自分達は経験したことがないのであまりピンと来ないが、今後は町単位→市単位という風に学校が統一されることも検討していくのもありかと思う。
10	将来的に必要	親のPTA活動に関してとても負担大 月に一回程度ではあるが平日にPTA、授業参観などがあり共働きには休み調整はとても大変。児童数減少になればそういった意味でも兄弟が重なる度に負担は大きくなる気がする。

泰野小学校

番号	検討の可否	内容
1	すぐに必要	小規模校でいいところもたくさんあるが、学校の維持費を将来子どもたちが担っていくと思うと、早めに適正な規模、適正な数に整備したほうがいいと思う。校区関係なく好きな学校に行けるようにしてほしい。
2	すぐに必要	児童数が減るのは、住むのに不便だからだと思うので、学校のあり方というよりも町のあり方をどうにかしないと解決はしないと思う。小学校を統合するなら、普通なら人数の多い所にだと思うが、立地的に中間の泰野になるのではないか。そうなると新橋、尾野見から反発があるかも…。伊崎田のように、小、中学校を同じにするのが良いかなと思う。送迎に保護者の負担がないようお願いします。
3	すぐに必要	学校間での交流機会は多くても良い授業も合同で行える機会があれば面白い。学力面等々から少人数制は良い。未就学のうちから（保育園幼稚園の段階から）「親育て」の機会が必要だと思うことは多い。小規模校で保護者の考えが稚拙だと逃げられない。
4	すぐに必要	今すぐに検討委員会が必要だと思う。
5	すぐに必要	半数近く子供が減るなんて悲しいし、現実を見せつけられた感じがしました。去年は複式学級もありました。人数が減る中、複式でやる方法もありますが、他の学校と合併することも視野に入れ始めても良いかもしれないと思います。
6	将来的に必要	子供の人数が減って行くのは、色んな面で不安もあるが、多くなりすぎても、子供との関わりが薄くなり問題を見落としてしまうのでは？複式学級も先生が一人だと、勉強面が落ちるなあと思う。
7	分からない	他人に揉まれていないのは、何かにぶつかった時に解決していくしかないのかなと。一人ひとりに目が行き届く環境の方が大切なことのように思います。今はそれができる環境なので、それをフルに生かした授業づくりを引き続きお願いします。
8	分からない	児童数が、少なくなっていくのはわかっているが、どういう風にしていくのか、具体的な事がわからないから、見当がつかない。ある程度の見当がたっているのであれば示して欲しいが、合併などになると、子どもの負担がどれだけかかるのか。心配な部分もある。

尾野見小学校

番号	検討の可否	内容
1	すぐに必要	時間のかかる事だと思うので早めに取り組み、熟考し子供達にとって良い学校作りを目指して欲しいです
2	すぐに必要	小学校の数を少なくして、少しでも多い人数で学べる環境にする
3	すぐに必要	人数が少ないのに学校が分散しすぎだと思う。 地域によって統合するべきだと思う。 統合して学校が遠くなった児童は通学バスなど用意すれば問題ないと思う。 統合して先生の数が減れば減った分の費用をバス代などにあてれば良いと思う。
4	すぐに必要	小学校の統合が今すぐ必要であると思う。 同時に廃校となる校舎の有効活用を考えて同時進行すべきである。
5	すぐに必要	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区で統合の議論を進めたほうが良いと思う。(特に松山地区) ・ある程度統合したほうが予算も適正に振り分けられるのではないかな? ・統廃合することで予算がどうなるのか、メリットとデメリットを提示し、候補となる考え方を示したほうが良いと思う。
6	すぐに必要	移住プロジェクトと合わせて学校見学会を移住希望者へ積極的にアピールし、校区外の移動学校も柔軟に対応していく。 又、昨今の物価、電力高騰により他地域より避難目的での九州移住が高まっていたり、空き家への問い合わせも他県では始まっている。 農業プロジェクトだけでなく、少子化への取組も大々的に公式でアピールすると良いのではないかと思います。
7	将来的に必要	子供が通っている小学校の保護者、児童が閉鎖的な人が多いので、偏った考え方になっているような気がして不安です。
8	将来的に必要	農業や自営業にとっては住みやすい環境であるかもしれないが、企業でフルタイム、土日、祝日働く人、核家族の家庭にとっては、とても住みにくい、子育てしにくい環境と思う。 子供が減っていくのも仕方ないのではと感じる
9	将来的に必要	長女の入学した頃一度アンケートがありました。それからもう12年近く過ぎていますが何も対策していなかったんだと残念です。末っ子の時まで複式になることもなく終わりそうですが対応が後手後手でもう少しちゃんとして欲しいです。

議事 1 検討委員会としての基本的な考え方及び今後の進め方等について

1 松山地区のコミュニティ協議会からの要望書を受けての検討委員会としての基本的な考え方

検討委員会では、要望書を真摯に受け止め、今後の松山地域の学校の在り方について、将来の担い手となる子供たちにとって、より良い学びの場となるよう検討します。また、検討を進めるに当たっては、9月20日付けの松山地区小学校PTA連絡会からの要望書にもあるとおり、当事者である保護者の意見を大切にします。

2 今後の進め方等について

(1) 保護者アンケートの実施

未就学児の保護者から中学生の保護者までを対象に学校の在り方に関するアンケートを実施する。

(2) 保護者アンケート後の協議

(1)のアンケート結果を基に松山地区小学校PTA連絡会からの要望等を含め、検討委員会で協議を行う。

議事 2 保護者アンケートの実施について

1 対象者

令和6年10月1日現在、松山地域に居住する未就学児及び児童生徒（0歳から15歳まで）の保護者 203人（※ 1世帯1回答）

2 調査方法

対象保護者にアンケート依頼文書（16・17ページ）を郵送し、WEBから回答する。

3 アンケート回答期間

令和6年11月1日（金）から同月17日（日）まで

4 アンケート内容

別紙（18・19ページ）のとおり

その他

第2回 開催予定日

- | | | |
|---------|---------------|-----------|
| (1) 開催日 | 17日（火） | } いずれかで調整 |
| | 令和6年12月18日（水） | |
| | 19日（木） | |
| (2) 時間 | 19時～ | |
| (3) 場所 | やっちくふれあいセンター | |

(案)
(表面)

令和6年11月 日

松山地域の未就学児・児童生徒の保護者の皆様

志布志市松山地域の学校の在り方検討委員会

松山地域の学校の在り方に関するアンケートについて（依頼）

令和6年7月1日付けで松山地域の各コミュニティ協議会会長の連名で市長及び教育長に対して、松山地域の教育環境の在り方等検討について要望書の提出がありました。これを受けまして、教育委員会では、今後の松山地域の教育環境の在り方を共に考え、議論を深めるため、志布志市松山地域の学校の在り方検討委員会を設置しました。

当委員会としましては、松山地域の学校の在り方の検討に当たり、学校の主役である子供たちの保護者の皆様の御意見を尊重する必要があると考えております。

つきましては、次のとおり保護者の皆様を対象にアンケートを実施することといたしましたので、率直なご意見・ご感想をお聴かせくださいますようお願いいたします。

1 アンケートの概要

(1) 1世帯1回答とします。

(2) WEBアンケートのみの実施になります。

次のQRコードをスマートフォンで読み取っていただき、WEB上のアンケートに回答してください。

※ アンケートへの回答の前に、裏面にある「今後の松山地域の児童生徒数の推移」をご覧ください。



(3) 設問数 6問

(4) 回答期限 令和6年11月17日（日）まで

2 問合せ先

志布志市松山地域の学校の在り方検討委員会事務局

志布志市教育委員会 教育総務課 総務施設グループ

担当：橋本・兒玉（憲）

電話：(099) 472-1111 内線310・311

E-mail：k-soumu@city.shibushi.lg.jp

(裏面)

今後の松山地域の児童生徒数の推移

松山中学校													R6とR12の比較			
	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		生徒数	割合
1年	39	1	30	1	31	1	32	1	32	1	24	1	26	1	△ 13	-33.3%
2年	32	1	39	1	30	1	31	1	32	1	32	1	24	1	△ 8	-25.0%
3年	35	1	32	1	39	1	30	1	31	1	32	1	32	1	△ 3	-8.6%
合計	106	3	101	3	100	3	93	3	95	3	88	3	82	3	△ 24	-22.6%

6年後の令和12年度の生徒数は、82人となり、今年度と比較すると24人、22.6%が減少することが見込まれています。

松山小学校													R6とR12の比較			
	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		増減数	割合
1年	10	1	5	1	8	1	4	1	7	1	4	1	8	1	△ 2	-20.0%
2年	9	1	10	1	5	1	8	1	4	1	7	1	4	1	△ 5	-55.6%
3年	14	1	9	1	10	1	5	1	8	1	4	1	7	1	△ 7	-50.0%
4年	8	1	14	1	9	1	10	1	5	1	8	1	4	1	△ 4	-50.0%
5年	11	1	8	1	14	1	9	1	10	1	5	1	8	1	△ 3	-27.3%
6年	12	1	11	1	8	1	14	1	9	1	10	1	5	1	△ 7	-58.3%
合計	64	6	57	6	54	6	50	5	43	5	38	4	36	4	△ 28	-43.8%

6年後の令和12年度の児童数は、36人となり、今年度と比較すると28人、43.8%が減少するとともに、令和9年度からは複式学級になることが見込まれています。

泰野小学校													R6とR12の比較			
	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		増減数	割合
1年	6	1	2	1	3	1	2	1	4	1	3	1	6	1	0	0.0%
2年	10	1	6	1	2	1	3	1	2	1	4	1	3	1	△ 7	-70.0%
3年	3	1	10	1	6	1	2	1	3	1	2	1	4	1	1	33.3%
4年	12	1	3	1	10	1	6	1	2	1	3	1	2	1	△ 10	-83.3%
5年	7	1	12	1	3	1	10	1	6	1	2	1	3	1	△ 4	-57.1%
6年	8	1	7	1	12	1	3	1	10	1	6	1	2	1	△ 6	-75.0%
合計	46	4	40	4	36	3	26	3	27	3	20	3	20	4	△ 26	-56.5%

6年後の令和12年度の児童数は、20人となり、今年度と比較すると26人、56.5%が減少することが見込まれています。

尾野見小学校													R6とR12の比較			
	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		増減数	割合
1年	10	1	8	1	9	1	8	1	5	1	3	1	4	1	△ 6	-60.0%
2年	5	1	10	1	8	1	9	1	8	1	5	1	3	1	△ 2	-40.0%
3年	15	1	5	1	10	1	8	1	9	1	8	1	5	1	△ 10	-66.7%
4年	12	1	15	1	5	1	10	1	8	1	9	1	8	1	△ 4	-33.3%
5年	13	1	12	1	15	1	5	1	10	1	8	1	9	1	△ 4	-30.8%
6年	10	1	13	1	12	1	15	1	5	1	10	1	8	1	△ 2	-20.0%
合計	65	6	63	6	59	5	55	6	45	5	43	5	37	4	△ 28	-43.1%

6年後の令和12年度の児童数は、37人となり、今年度と比較すると28人、43.1%が減少するとともに、令和8年度からは複式学級になることが見込まれています。

松山中校区小学校全体													R6とR12の比較			
	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		増減数	割合
1年	26		15		20		14		16		10		18		△ 8	-30.8%
2年	24		26		15		20		14		16		10		△ 14	-58.3%
3年	32		24		26		15		20		14		16		△ 16	-50.0%
4年	32		32		24		26		15		20		14		△ 18	-56.3%
5年	31		32		32		24		26		15		20		△ 11	-35.5%
6年	30		31		32		32		24		26		15		△ 15	-50.0%
合計	175	16	160	16	149	14	131	14	115	13	101	12	93	12	△ 82	-46.9%

6年後の令和12年度の児童数は、93人となり、今年度と比較すると82人、46.9%が減少することが見込まれています。

松山地域の学校の在り方に関するアンケート

下記のフォームにご入力をお願いします。

【松山地域の未就学児及び児童生徒の保護者の皆様】

松山地域の学校の在り方の検討に当たりましては、当事者である保護者の皆様のご意見を尊重する必要があると考えておりますので、次のアンケートにご協力をお願いします。

志布志市松山地域の学校の在り方検討委員会

Q1. お住いの小学校区はどこですか？ 必須

- 松山小学校区
- 泰野小学校区
- 尾野見小学校区

Q2. お子様について、あてはまる項目にチェックしてください（複数選択可。未就学児は、10月1日現在の年齢にチェックしてください）。 必須

- 0歳児
- 1歳児
- 2歳児
- 3歳児
- 4歳児
- 5歳児
- 小学校1年生
- 小学校2年生
- 小学校3年生
- 小学校4年生
- 小学校5年生
- 小学校6年生
- 中学校1年生
- 中学校2年生
- 中学校3年生

Q3. 小学校の1クラス当たりの児童数は、何人ぐらいが良いと思いますか。 必須

- 10人未満
- 10人以上20人未満
- 20人以上30人未満
- 30人以上

Q4. 今後の児童生徒数の推移をご覧になって、お子様が通学している（就学を予定している）学校についてどのように思われますか？考えに近いものを1つ選んでください。※統合は、スクールバスが運行されることを前提とします。 必須

- 今のまま統合しない方が良い
- 小学校3校のみを統合する方が良い
- 小学校3校と中学校を統合し、小中一貫校（義務教育学校）とする方が良い
- 分からない
- その他

Q5. Q4の回答理由をお書きください。 必須

0 / 60000

Q6. 今後、松山地域の学校の在り方を考えていく上で、必要なことやご意見などがあればお書きください。

0 / 60000

→ 確認画面へ進む

📄 入力内容を一時保存する

